

令和3年6月17日の大雨に関する 愛知県気象速報

目次

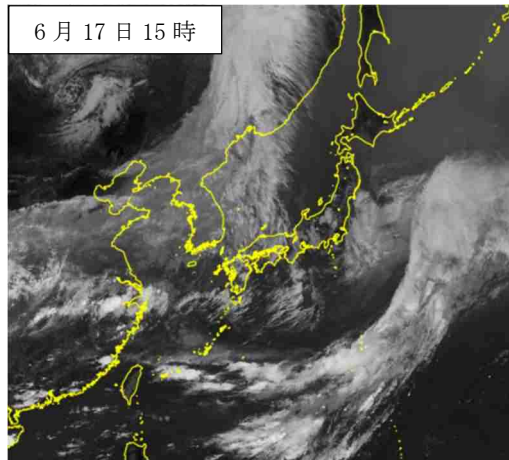
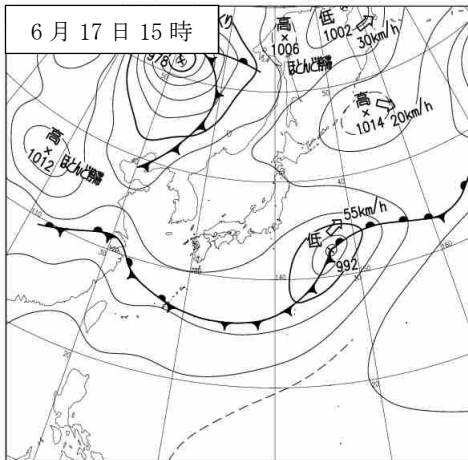
- 1 気象概況
- 2 大雨の状況等
- 3 発表情報

令和3年6月18日
名古屋地方气象台

注：本資料は速報として6月17日22時までの状況を取りまとめたものです。
後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

1 気象概況

6月17日は、東海地方の上空約5500メートルに氷点下12℃以下のこの時期としては強い寒気が流れ込んだ。また、日中は高気圧に覆われ晴れて気温が上がったことにより、山地を中心に大気の状態が不安定となった。このため、愛知県では、雷を伴って猛烈な雨の降った所があった。



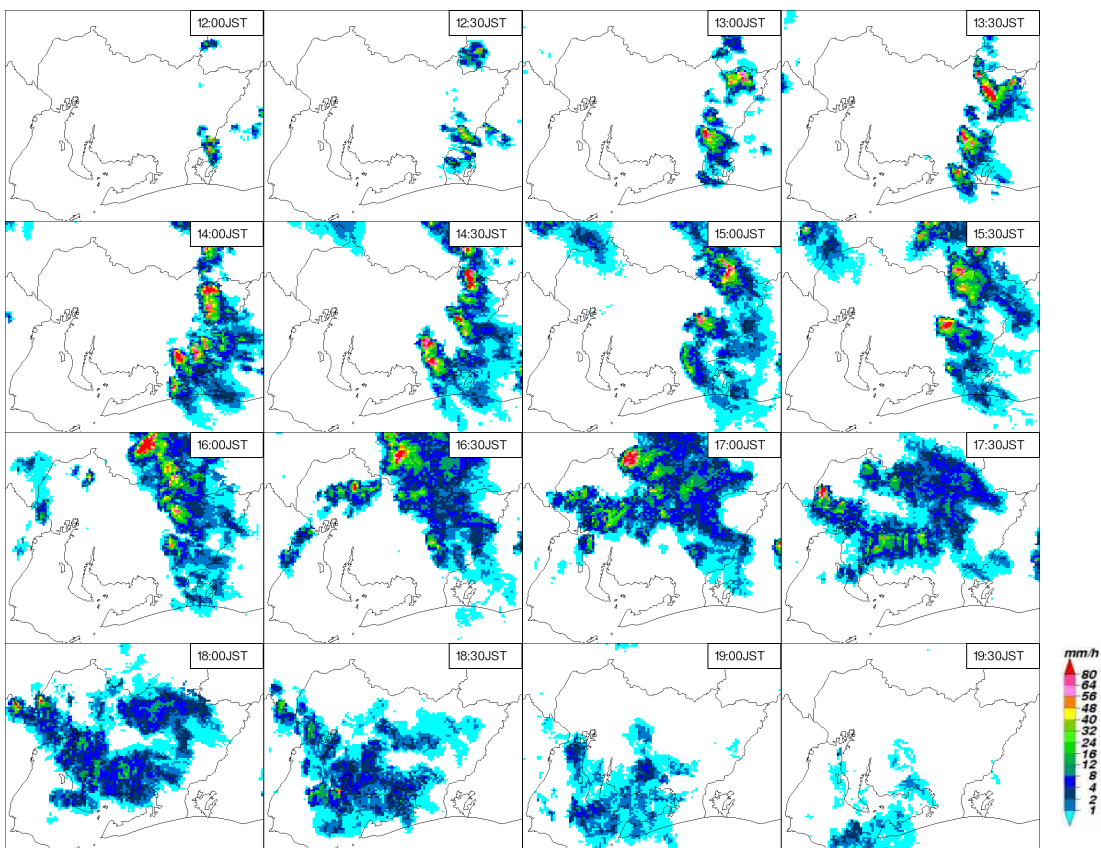
6月17日15時の地上天気図 (左) と気象衛星赤外画像 (右)

2 大雨の状況等

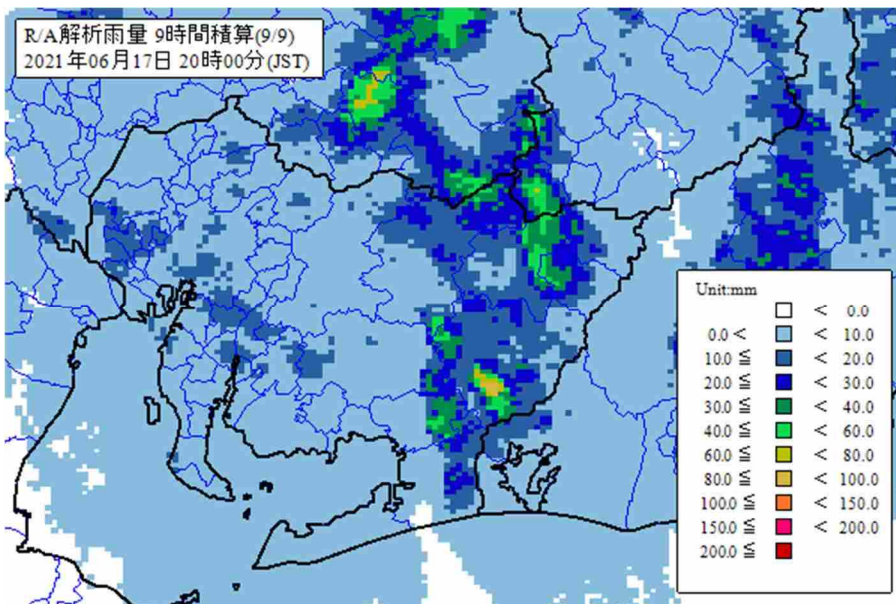
愛知県では、6月17日昼頃から雨が降り始め、昼過ぎには東部を中心に雨が強まり、東三河北部で一時的に猛烈に降った所があった。この大雨により、浸水の危険度が高まった豊川市に大雨警報 (浸水害) を発表した。

アメダスの新城では、日最大1時間降水量の観測史上1位の値を更新した。

(79.5mm、これまでの1位：57.0mm、2013/9/16)

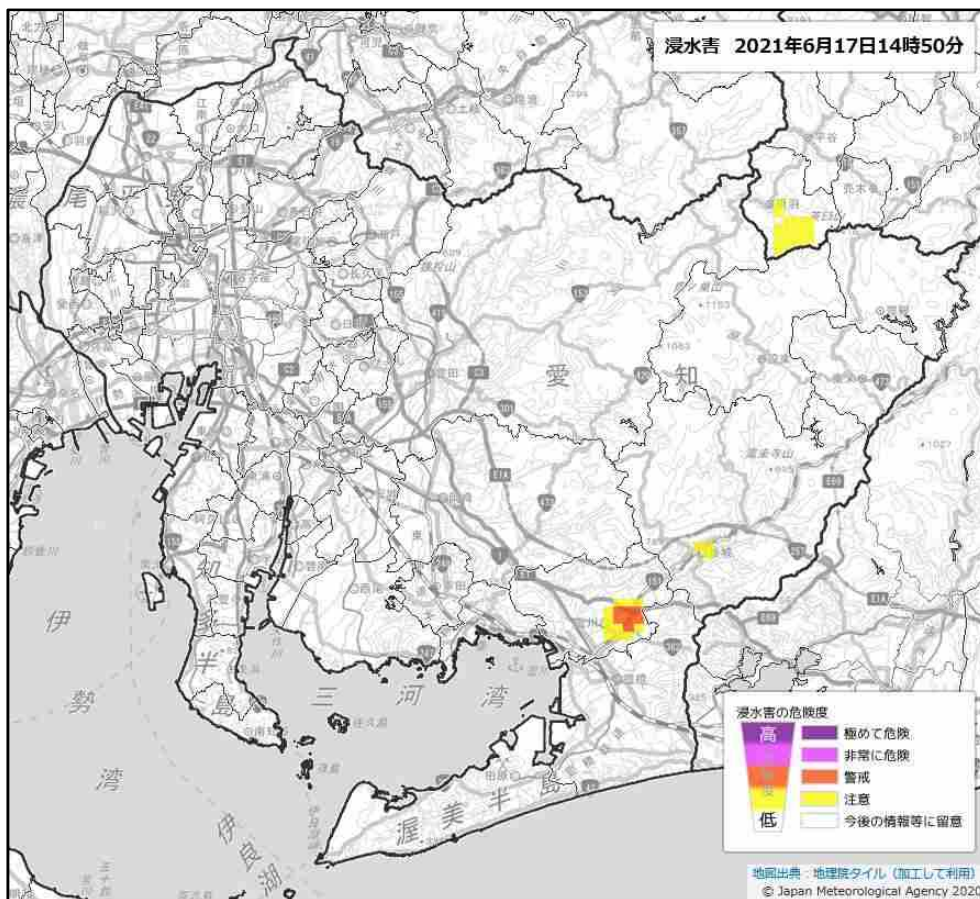


レーダーエコー合成図 (6月17日12時00分～17日19時30分、30分毎)



※ 解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量を解析したものである。この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合がある。

9時間積算解析雨量分布図
(6月17日12時~17日20時)



大雨警報(浸水害)の危険度分布(6月17日14時50分)

